

村木厚子さんから、「えにし」を結ぶ会に寄せられたメッセージ

皆様に大変な御心配をおかけしておりますが、元気でやっております。

4月には被告人質問も終わり、5月は証拠決定、6月には論告求刑と最終弁論、9月には判決という予定です。

裁判はまだまだ続きますが、今の時点でひとつ実感していることがあります。検察の取調べ、拘留、裁判という一連のプロセスの中で、一貫して真実を貫抜いていくためには何重もの条件が重なる必要があるということです。

- ①心が折れないこと
- ②長い拘留に耐えられる体力、健康があること
- ③裁判を続けていける資金を得ることができること
- ④信頼できる弁護人に恵まれること
- ⑤家族が支え続けてくれることなどなど。

どれひとつが欠けても闘いを続けることができません。

本当にありがたいことに、皆様がこの間変わらぬ信頼を寄せて下さり、また、さまざまな形で支援をして下さることで、私はこの幸運を手にし、自分の真実を守る闘いを続けることができています。

この場を借りて、皆様に心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

また、自分自身のことで申し上げれば、この年齢になってよかった、やっぱり「おばさん世代」は強いと思ってしまう。そういえば、この間いただいた励ましの言葉も、女性で年齢の高い人ほど過激だったような……。

いずれにしても、皆様の支援を無駄にせぬよう、しっかりがんばります。

今回は「えにしの会」には出席できませんが、また、この会で皆様にお目にかかれることを楽しみにしております。

村木厚子さんに関する情報は

「えにし」のホームページ

<http://www.yuki-enishi.com/>

の「メディアの部屋」の

■冤罪とメディアのコーナーに17項目にわたってアップしてありますのでご覧ください。



(写真は、2005.4.23の「えにし」を結ぶ会で、

玉木幸則さんがユーモアたっぷりの進行役をつとめた鼎談

「ほんまに みんなで考えたい 人の福祉(しあわせ)」で、同期の山崎史郎さんと。)